

草木染料による染色技術

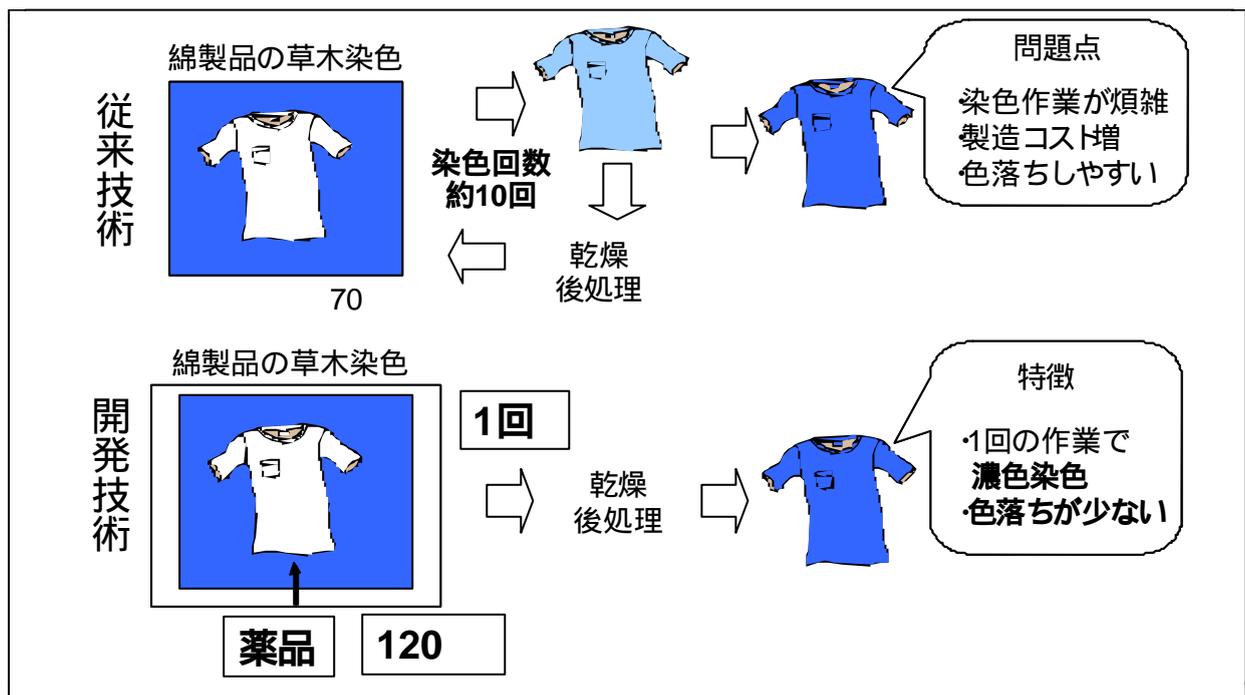
工業技術センターでは、受託研究「草木染料による染色に関する研究」を実施した結果、1回の染色操作で濃色かつ色落ちの少ない草木染めの染色技術を開発した。

1 背景

近年の消費者の天然指向により、植物等から抽出された色素で染色された草木染め製品がその独特な色調や風合いから注目されている。しかし、植物等から抽出される天然の染料は化学染料に比べ染色しにくく、染色作業を繰り返す行わなければならない。そのため、工業化には染色作業の効率化をはかることが課題となっている。また、草木染料の欠点である色落ちの改善も課題とされている。

2 内容

薬品を添加し、120℃で染色することで、1回のみ作業で濃色かつ色落ちの少ない染色技術を開発した。



3 効果

染色作業が1回のみとなるにより、製造コストの削減および大量で短納期の製品への対応が可能である。

濃色で色落ちの少ない草木染め製品が得られる。

豊和(株)が本技術を活用し、新作春夏物衣料への採用に向けてアパレルメーカーへ売り込み中です。